

【情報公開文書】

2020年6月17日作成

Ver.2.0

研究課題名	成人T細胞白血病ウイルスI型(HTLV-1)母子感染に関する研究
所属(診療科等)	長崎大学病院 産婦人科
研究責任者	三浦 清徳 (教授)
研究機関	この研究は長崎大学病院 産婦人科のみで実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。
研究期間	2020年5月19日～2034年12月31日
研究目的と意義	HTLV-1というウイルスは白血病を起こすウイルスです。HTLV-1が陽性の妊婦さんから生まれる赤ちゃんは母乳ではなくミルク(人工乳)をあげることで赤ちゃんが感染することを減らせることが分かっています。長崎県は30年以上前からこの取り組みをしており、長崎大学病院も検査を継続的に行ってきました。ただ、母乳を飲んでいないにもかかわらず赤ちゃんにHTLV-1が移ることがあり、それがどうして起こるのかは分かっていません。そのため長崎大学病院では臍帯血や胎盤などを用いて感染がどうして起こるかを調べています。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 長崎県内で妊娠中にHTLV-1キャリアと診断され、「ATLウイルス母子感染防止対策事業」に同意された妊婦さんとそのお子さん</p> <p>●利用する情報/試料 情報：妊婦さんの生年月日、出身地、お産の回数、喫煙歴、赤ちゃんの時の栄養法、分娩日、分娩時年齢、分娩週数、分娩方法、産科合併症、妊婦健診の感染症検査の結果(B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、HIV、クラミジア、梅毒)、お子さんの3歳時の抗体保有状況 試料：HTLV-1が陽性である妊婦さんの血液(妊娠中と分娩後)、臍帯血、臍帯・胎盤</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 この研究はもともと長崎県が行っている「ATLウイルス母子感染防止対策事業」をもとに行っています。事業に同意された妊婦さんのうち、HTLV-1が陽性である妊婦さんの血液(妊娠中と分娩後)、臍帯血、臍帯・胎盤にあ</p>

	る HTLV-1 のウイルス量を測定して、どこにウイルスがいる妊婦さんから赤ちゃんへウイルスが移るのか、ウイルス量と関係があるのか、妊婦さんの妊娠中に起こった合併症と関係があるのか、分娩方法に関係があるのかなどを調べます。これによって母乳以外の感染がどのように起こっているのかが分かります。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：三浦 清徳（医師） 長崎大学病院 産婦人科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7363 FAX 095（819）7365 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）